

社会議員団だより

二〇一二年早春号

平和と福祉、より良き環境をめざし
社会議員団は3人会派で、がんばります！

東日本大震災から一年、多くの犠牲者・被災者の皆さまに改めて哀悼とお見舞い、さらに一日も早い復興と生活再建を祈念申し上げます。また厳しい避難生活を余儀なくされている皆さまの日々の安心安全な生活に向け、私共も一層努力してまいります。こうした中、私共 社会議員団は、去る一月一〇日、145項目の新年度予算要望書を市長に提出致しました。

とりわけ今回は、先の宇治市議選で初当選した木村議員も加え、浅見・池内議員共々、川端副市長に面会し、忌憚のない意見交換を致しました。その後、去る二月十三日には、市当局は新年度予算を議会に提案し、この三月定例議会で予算審議が行われます。私たち社会議員団も、市民の暮らしと地域の改善に向けて、しっかりがんばる決意です。今後共、皆々様の暖かいご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「希望ある市政問われる」

宇治市議会 社会議員団 来年度の予算要望

宇治市議会の社会議員団(浅見健二団長3人)は10日、久保田勇市長宛ての予算要望書を川端修副市長に提出した。要望書では市の厳しい財政状況に触れ、それだけ市民一人ひとりが明日への希望を持って市政をどう築いていくのかが問われているとして、145項目について予算措置を求めた。新規の主なものとして▽子育て支援策はもとより、住宅優遇施策など少子高齢化に歯止めを▽児童虐待防止のため、現行の制度や審議会を見直し、適時適切な対策が打てるよう▽地下水源の保全を図ること▽公立保育園の3年保育の実施、通園バスの導入を▽JR奈良線複線化に市域が入るよう、国府JRに働きかけることなどを盛り込んだ。

012.1.11「城南新報」転載

発行責任者
宇治市議会社会議員団
同市議 浅見健二
池内光宏
木村正孝
連絡先
宇治市議会内
☎二二一三一四一



新年度予算要望書を川端副市長に提出 (左から浅見、池内、木村各市議)



防災計画見直しなど145項目

宇治市議会 社会議員団が来年度予算要望

宇治市議会の社会議員団(浅見健二団長、3人)は10日、来年度予算編成に対する要望書を久保田勇市長に提出した。要望書では「住民自治の確立と平和・人権」「防災防犯対策」などと8つの課題に大別し、具体的な施策として計145項目を挙げている。今回新たに追加した項目は▽地下鉄六地蔵駅付近にコミセン新設▽市環境基本条例の改正▽仮称・市地下水保全条例の制定▽敬老のつどいの再検討▽公立幼稚園の3年保育の実施など。R複線化の動きが、防災に関しては、震度9を念頭にとした地域防災計画の見直しや原発対策、遠方との災害応援協定のあり方の検討、福祉避難所の開設などを求めている。

012.1.11「洛南タイムス」転載

一般会計 5.4%減の576億円

宇治市12年度当初予算案

◆建設部◆	
六地蔵地区道路整備事業費	40,000
◆都市整備部◆	
公園施設長寿命化計画策定費	31,000
(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園関係事業	44,129
世界遺産保護推進費	1,368
耐震診断・耐震改修推進事業費	19,840
JR奈良線複線化調査事業負担金	8,532
◆教育部◆	
神明小学校増築事業費	35,826
中学校昼食提供事業費	1,494
広野公民館計画修繕事業費	2,000
◆消防本部◆	
(仮)伊勢田救急出張所整備費	16,000
◆水道事業会計◆	
防災対策事業	134,959

当初予算規模	一般会計	576億0000万0000円
	特別会計	422億2960万0000円
	企業会計	48億1364万5000円
	総額	1046億4324万5000円

2012年度 宇治市の当初予算概要	
事業名(主な新規・拡充分)	事業費(千円)
◆市長公室◆	
防災事業費	40,519
地域防災計画改定費	8,000
◆総務部◆	
ウトロ地区住環境改善基本構想策定費	9,409
庁舎温室効果ガス削減対策事業費	50,000
◆市民環境部◆	
農業者戸別所得補償制度推進事業費	1,338
産地力向上推進事業補助金	600
鳥獣捕獲飼養対策費	24,136
観光振興計画策定費	3,590
指定ごみ袋導入事業費	690
◆健康福祉部◆	
子どものための手当費	2,760,516
乳児家庭全戸訪問事業費	9,000
児童虐待防止対策緊急強化事業費	4,300
家庭的保育事業費	84,150
大久保保育所改築事業費	9,500
特別養護老人ホーム等建設費補助金	22,185
子育て支援医療費支給費	290,433

012.2.14「城南新報」転載

宇治市議会 三月定例議会で新年度予算審議

去る二月二〇日、市当局は平成24年度一般会計ならびに特別会計 計一〇四六億四三二四万円の予算、各種条例改正議案を宇治市議会に提案しました。議会では、これを受けて三月二十九日の最終本会議までの間、代表質問、一般質問、続く4常任委員会(総務・市民環境・文教福祉・建設水道)、さらに予算委員会において審議していくこととなります。

とりわけ新年度一般会計予算は、法人市民税や固定資産税の減収、また地方交付税の減額など、前年度より17億円もの減収を見込んでの予算編成になっています。したがって、私共 議会としても当局の施策展開について、十分その中身を吟味し、市民の暮らしの安定と安心、地域環境の改善、さらに将来に夢と希望が繋がる新年度予算になるよう、しっかり議論を重ねてまいりたいと思っています。